

災害時のペットとの避難

災害時に避難する場合、飼っているペットを連れて避難する「同行避難」が原則です。同行避難とは、避難所まで安全に避難することを指し、厚木市では、人とペットは別の場所で過ごすこととなります。

避難所には、多くの人が避難します。避難する際は、飼い主として責任ある行動を心がけましょう。

また、**ペットの避難スペースは限られており、避難所での生活はペットにも多くの制約が伴い、大きなストレスがかかります。**避難所へ避難するほか、車中避難や一時預かり先の確保など、避難方法を検討しておきましょう。



日頃の備え

健康管理

ワクチン接種やノミ・ダニ駆除、必要に応じて不妊去勢手術をしましょう。※犬は、必ず**狂犬病予防注射**を接種させましょう。

しつけ

避難所ではケージ等に入って過ごすこととなるので、普段からならしておきましょう。

非常時でも飼い主がペットを制御できるよう、基本的なしつけを身につけておきましょう。

所有者明示

マイクロチップ、迷子札、鑑札（犬の場合）等を装着しましょう。

情報収集

ハザードマップや避難所の情報を市ホームページなどで確認しましょう。

避難方法の検討

避難所へ同行避難する以外にも、**在宅避難、車中避難、ペットホテル**や親戚・知人宅などでの**一時預かり先の確保**などを検討しましょう。

※避難所で過ごすことは、ペットにもストレスとなります。

ペットの避難用品の準備

裏面を参考に、必要な物品を準備しましょう。



ペットの避難用品や避難所でのルールも確認しましょう。



ペットの避難用品

1. 命や健康に関わるもの

- 療法食、薬
- フード、水（7日分以上が望ましい）
- 予備の首輪、リード（伸びないもの）
- 食器
- ガムテープ
（ケージの補修など多用途に使用）

2. ペット用品

- ケージ、キャリーバッグ
- ペットシート
- トイレ用品、ごみ袋
- タオル、ブラシ
- おもちゃ
- 洗濯ネット（猫の場合）



など

***飼い主の連絡先やペットの情報**（写真、健康状態、ワクチンの接種状況、かかりつけの動物病院など）も分かるようにしておくとい 좋습니다。



災害が起きたら

安全確保

ペットを守ることができるのは飼い主だけです。

避難の判断

災害の状況を確認し、**避難が必要か判断**しましょう。

避難が必要な場合、ペットと共に避難所へ避難するほか、**在宅避難**、ペットは**一時預かり先に預ける**、**車中避難**などの選択肢があります。



避難所のルール

◇受入れができるのは、**犬・猫・小動物**です。

◆**ペット用品**（フード等）は**飼い主が準備**します。※避難所にはありません。

◇ペットは避難所内の決められた場所に避難し、飼い主とペットは別の場所で過ごします。

◆必ず、ケージやキャリーバッグ等を**持参**してください

※持参していないと、受入れができない場合があります。

◇**周囲への配慮**をお願いします。

※避難所には、動物が苦手な人やアレルギーを持つ方もいます。また、鳴き声や放し飼い等はトラブルの原因となります。

◆ペットの避難スペースは、**飼い主が責任を持って清掃し、ごみは持ち帰り**ましょう。